

成果報告書

教育研究課題名	カナダにおける地方自治・市町村合併・ガバナンスの調査の実施
---------	-------------------------------

1、補助事業の取組状況（500字以内）
1. カナダにおける地方自治・地方行政の研究 *University of Victoria における豊富な文献を利用し、カナダの地方制度およびその実際について研究を行った。 *University of Victoriaで行われた学内向けのソフトウェア、データ分析などのセミナーに出席し、新しい知見を得た *Saanich市議会議員のMena WesthaverさんへのインタビューやVictoria市庁舎、Saanich市庁舎、ブリティッシュコロンビア州議会等の視察などを行った。インタビューにおいては、カナダにおいては日本と異なり都市部における人口増加が、住宅不足など様々な社会問題を引き起こしているが、日本とは異なり数が少ない議員が種々の仕事の優先順位をつけて効率的に取り組んでいるということを教えていただいた。 *期間中に参加したカナダ政治学会やプレイリー政治学会におけるカナダの地方政治・地方自治についての分科会に参加し、カナダ地方政治研究の最新のトレンドを吸収した 2. 有権者の政治情報の取得に関する研究 *科学研究費補助事業に関連し、有権者の情報取得に関する研究データを整理・分析し、アイトラッキングに関する研究はカナダ政治学会において、高校生の政治学習に関する研究はプレイリー政治学会において、各々報告を行った。

2、補助事業の成果（500字以内）
下記のとおり、在外研究中に以下の2つの学会報告を行った。 学会名：Canadian Political Science Association 開催日：2023年6月1日（木） 会場：ヨーク大学 報告題目：「Understanding the Role of Candidates' Visual Information - Application of Conjoint Analyses and Eye Tracking Techniques」 報告内容：候補者選択のためのコンジョイント分析における情報提示フォーマットの違いが有権者の注目する点にどのような影響を与えるのかをアイトラッキングにより確認した。 学会名：Prairie Political Science Association 開催日：2023年9月24日（日） 会場：Banff Centre for Arts and Creativity 報告題目：「What Have Students Learned from Voting? Lowering the Voting Age in Japan & the Unintended Consequences of a Culture of Obedience」 報告内容：日本の高校生の投票参加を題材に投票が有権者にどのような影響を与えるかの分析を行った。 また、愛知学院大学政策科学研究所所報 政策科学 第15号（2024年3月発刊）に地方自治に関する論文「総合戦略と総合計画 東海地方における第二期地方版総合戦略」を共著で発表した。加えて、期間中に作成した原稿が第一法規より共著での出版予定である。カナダの地方自治のみを対象にした論考はまだ作成できていないが、日本の地方自治研究においてもその知見を活かしてゆきたい

所属	職名	氏名
総合政策学部	教授	中村悦大